【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-504929(P2000-504929A)
【公表日】平成12年4月25日(2000.4.25)
【出願番号】特願平9-522298
【国際特許分類第７版】
　Ｃ１２Ｎ　15/09
　Ａ６１Ｐ　21/00
　Ａ６１Ｋ　38/00
　Ｃ０７Ｋ　16/40
　Ｃ１２Ｎ　 1/19
　Ｃ１２Ｎ　 1/21
　Ｃ１２Ｎ　 5/10
　Ｃ１２Ｎ　 9/12
　Ｇ０１Ｎ　33/53
　Ｇ０１Ｎ　33/566
// Ｃ１２Ｐ　21/08
　(Ｃ１２Ｎ　 1/19
　 Ｃ１２Ｒ　 1:84　)
　(Ｃ１２Ｎ　 1/21
　 Ｃ１２Ｒ　 1:19　)
【ＦＩ】
　Ｃ１２Ｎ　15/00　　ＺＮＡＡ
　Ａ６１Ｋ　31/00　　６２１
　Ｃ０７Ｋ　16/40
　Ｃ１２Ｎ　 1/19
　Ｃ１２Ｎ　 1/21
　Ｃ１２Ｎ　 9/12
　Ｇ０１Ｎ　33/53　　Ｄ
　Ｇ０１Ｎ　33/566
　Ｃ１２Ｎ　 5/00　　Ｂ
　Ａ６１Ｋ　37/02
　Ｃ１２Ｐ　21/08
　Ｃ１２Ｎ　 1/19
　Ｃ１２Ｒ　 1:84
　Ｃ１２Ｎ　 1/21
　Ｃ１２Ｒ　 1:19

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月10日(2003.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】

手続補正書

平成１５年１２月１０日

特許庁長官　殿

１．事件の表示

平成９年特許願第５２２２９８号

２．補正をする者

住所　アメリカ合衆国　ニューヨーク　１０５９１－６７０７，

タリータウン，　オールド　ソウ　ミル　リバー　ロード　７７７

名称　リジェネロン　ファーマシューティカルズ，　インコーポレイテッド

３．代理人

住所　〒540-6015　大阪府大阪市中央区城見一丁目２番２７号

クリスタルタワー１５階

氏名　（７８２８）弁理士　山本　秀策

電話（大阪）０６－６９４５－３９１０

４．補正対象書類名

請求の範囲

５．補正対象項目名

請求の範囲

６．補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。

特許庁 15.12.12 出願支援課 田中

方式審査 佐藤

請求の範囲

1．単離された核酸分子であって、以下：

（ａ）ＭｕＳＫレセプターを活性化するヒトアグリンの一部をコードする、ｐＢＬ－ｈＡｇｒｉｎ１（ＡＴＣＣ受託番号第９７３７８号）と称されるベクターに含有されるヌクレオチド配列またはそのフラグメント；

（ｂ）図１５のＺ位の挿入物に対応する挿入物の存在によって、および／または図１５のＹ位における挿入物に対応する挿入物の非存在によって、および／または図１５のＹ位における挿入物にすぐに続いてアミノ酸配列ＶＬＳＡＳＨＰＬＴＶＳＧＡＳＴＰＲを有するさらなる挿入物をコードする核酸配列の存在によって、（ａ）のヌクレオチド配列と異なり、そしてＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドをコードする、ヌクレオチド配列；

（ｃ）遺伝コードの縮重の結果として、（ａ）または（ｂ）の該ヌクレオチド配列とは異なり、そしてＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、

からなる群より選択されるヌクレオチド配列を有する、単離された核酸分子。

2．ＭｕＳＫレセプターを活性化するヒトアグリンの部分をコードする、単離された核酸分子であって、ヌクレオチド配列が、以下：

（ａ）図１５に示されるヌクレオチド配列または少なくともアミノ酸３００～４９２をコードするそのフラグメント；

（ｂ）図１５のＹ位の挿入物に対応する挿入物の非存在によって、および／または図１５のＺ位における挿入物に対応する挿入物の非存在によって、および／または図１５のＹ位における挿入物にすぐに続いてアミノ酸配列ＶＬＳＡＳＨＰＬＴＶＳＧＡＳＴＰＲを有するさらなる挿入物をコードする核酸の存在によって、（ａ）のヌクレオチド配列と異なる、ヌクレオチド配列；

（ｃ）ストリンジェントな条件下で（ａ）または（ｂ）のヌクレオチド配列にハイブリダイズし、そしてＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドをコードし、そして（ａ）または（ｂ）に規定されるアグリンのフラグメントのみに等し

い、ヌクレオチド配列；および
（ｄ）遺伝コードの縮重の結果として、（ａ）、（ｂ）または（ｃ）の該ヌクレオチド配列のいずれとも異なり、そしてＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドをコードするヌクレオチド配列、
からなる群より選択される、単離された核酸分子。

３．請求項２に記載の核酸であって、以下：
（ａ）図１５に示されるアミノ酸１～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｂ）図１５に示されるアミノ酸２４～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｃ）図１５に示されるアミノ酸６０～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｄ）図１５に示されるアミノ酸７６～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｅ）図１５に示されるアミノ酸１２６～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｆ）図１５に示されるアミノ酸１７８～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｇ）図１５に示されるアミノ酸２２２～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｈ）図１５に示されるアミノ酸２６０～４９２をコードするヌクレオチド配列；および
（ｉ）図１５に示されるアミノ酸３００～４９２をコードするヌクレオチド配列；
から選択される、核酸。

４．請求項３に記載の核酸であって、以下：
（ａ）図１５に示されるヌクレオチド配列；
（ｂ）図１５に示されるアミノ酸２４～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｃ）図１５に示されるアミノ酸６０～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｄ）図１５に示されるアミノ酸７６～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｅ）図１５に示されるアミノ酸１２６～４９２をコードするヌクレオチド配

列；
（ｆ）図１５に示されるアミノ酸１７８～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｇ）図１５に示されるアミノ酸２２２～４９２をコードするヌクレオチド配列；
（ｈ）図１５に示されるアミノ酸２６０～４９２をコードするヌクレオチド配列；および
（ｉ）図１５に示されるアミノ酸３００～４９２をコードするヌクレオチド配列；
から選択される、核酸。

５．請求項１、２、３、または４に記載の核酸分子によってコードされる、単離されたポリペプチド。

６．ポリエチレングリコール分子の共有結合的付着によって改変される、請求項５に記載のポリペプチド。

７．請求項１、２、３、または４に記載の単離された核酸分子を含む、ベクター。

８．請求項１、２、３、または４に記載の核酸分子を含む発現ベクターであって、該核酸分子が発現制御配列に作動可能に連結される、発現ベクター。

９．ＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドの産生のための宿主－ベクター系であって、適切な宿主細胞中に、請求項８に記載のベクターを含む、宿主－ベクター系。

１０．請求項９に記載の宿主－ベクター系であって、前記宿主細胞が、細菌細胞、酵母細胞、昆虫細胞、または哺乳動物細胞である、宿主－ベクター系。

１１．請求項１０に記載の宿主－ベクター系であって、前記宿主細胞が、Ｅ．ｃｏｌｉである細菌細胞、Ｐｉｃｈｉａ　ｐａｓｔｏｒｉｓである酵母細胞、Ｓｐｏｄｏｐｔｅｒａ　ｆｒｕｇｉｐｅｒｄａである昆虫細胞、またはＣＯＳ細胞またはＣＨＯ細胞である哺乳動物細胞である、宿主－ベクター系。

１２．ＭｕＳＫレセプターを活性化するポリペプチドを産生するための方法であって、該ポリペプチドの産生を許容する条件下で、請求項９、１０、または１１の宿主－ベクター系の細胞を増殖させる工程、およびそのように産生された該ポリペプチドを回収する工程を包含する、方法。

１３．ＭｕＳＫレセプターを発現する細胞の増殖、分化、または生存を促進するための方法であって、細胞にアグリンまたはＭｕＳＫレセプターを活性化するのに有効なその一部の有効量を投与する工程を包含する、方法。

１４．請求項１３に記載の方法であって、前記ＭｕＳＫレセプターを発現する細胞が筋肉、心臓、脾臓、卵巣、または網膜で通常見出される細胞である、方法。

１５．請求項１３または１４に記載の方法であって、前記ＭｕＳＫレセプターを発現する細胞が、該ＭｕＳＫレセプターを発現するように遺伝子操作された細胞である、方法。

１６．モノクローナルまたはポリクローナルの抗アグリン抗体またはそのフラグメントを産生する方法であって、請求項５または６に記載のポリペプチドまたはそのフラグメントが、免疫原として使用される、方法。

１７．筋肉を冒す疾患または障害で苦しむ患者を処置するための、請求項５または６に記載のポリペプチドを含む、薬剤。

１８．請求項１７に記載の薬剤であって、前記疾患または障害が、神経トラウマ

による除神経、変性性、代謝性もしくは炎症性ニューロパシー、末梢性ニューロパシー、または環境毒素もしくは薬物によって引き起こされる神経の損傷から生じる筋萎縮症である、薬剤。

１９．請求項１７に記載の薬剤であって、前記疾患または障害が、運動性ニューロパシー、慢性非活動（ｃｈｒｏｎｉｃ　ｄｉｓｕｓｅ）、代謝ストレスまたは栄養失調、筋ジストロフィー症候群または先天性筋障害による筋萎縮症である、薬剤。

２０．請求項１７に記載の薬剤であって、前記疾患または障害が、後天性の（中害性または炎症性）筋萎縮症である、薬剤。

２１．筋肉を冒す疾患または障害の処置のための医薬の生産における、請求項５または６に規定されたポリペプチドの使用。

２２．請求項５または６に規定されたポリペプチド、および薬学的に受容可能なキャリアを含む、筋肉を冒す疾患または障害の処置における使用のための薬学的組成物。

２３．筋肉を冒す疾患または障害の処置における使用のための薬剤であって、請求項１、２、３もしくは４に記載の核酸分子を含む、薬剤。

２４．筋肉を冒す疾患または障害の処置のため医薬の生産における、請求項１、２、３、もしくは４に規定された核酸分子の使用。

２５．請求項１、２、３、もしくは４に規定された核酸分子、および薬学的に受容可能なキャリアを含む、筋肉を冒す疾患または障害の処置における使用のための、薬学的組成物。

２６．ＡＴＣＣ９７３７８として寄託された、ベクターｐＢＬ－ｈＡｇｒｉｎ１。